

駐屯地餅つき



来賓祝辞 (永岡氏・青木氏・針谷氏)



駐屯地司令挨拶



各部隊等を巡回



会食



祝い餅つき (年女 種市士長・年男 山口3曹)



祝い餅つき (協力会会長・駐屯地司令)

平成二十九年十二月二十二日、天気にも恵まれ、駐屯地において「年末行事」が行われた。初めに、各部隊で餅つきを行う中、駐屯地司令が各部隊等を巡回し、一年の労をねぎらった。続いて、駐屯地厚生センター前において年末セレモニーを実施し、当初、駐屯地司令が挨拶し、次に来賓祝辞として、協力会会長（古河市長）針谷力様、後援会会長 青木正夫様、後援会特別顧問（衆議議員）永岡桂子様から挨拶を頂いた。その後、祝い餅つきを来賓の方々及駐屯地部隊長等及び隊員代表として三十年の年男・年女によって行われ、会場がおおいに盛り上がった。来賓の方々、体育館において、駐屯地司令以下本部隊員と会食を行い懇親を深めた。各部隊等は、それぞれの場所でのBや隊員家族との会食を行い、楽しい時間を過ごし、盛会のうちに終了した。



激励の言葉 (船田士長) 謝辞 (小林士長)



新成人抱負発表 (磯山士長)



駐屯地司令式辞

平成三十年一月十二日、古河駐屯地新成人祝賀行事を体育館で実施し、新成人二十名の前途を祝った。祝賀行事においては、隊員家族が見守る中、全員で国歌斉唱を行ったのち、駐屯地司令が式辞を述べ、協力会会長（古河市長）針谷力様からご祝辞を頂いた。その後、新成人を代表して第一〇二施設直接支援大隊 磯山士長が抱負として、「社会人としての責任と自覚を持つ・親への感謝の心を忘れない」など、二十歳となった現在の誓いの言葉を述べた。祝賀行事後、駐屯地食堂で祝賀会食を実施し、新成人達は、多くの来賓・家族から祝福を受けた。会食の最後には、先輩隊員代表として船田士長から「模範となるよう努力していくので、ともに頑張ろう」と激励の言葉をもらい、小林士長が「今よりも成長出来るよう日々努力します」と謝辞を述べた。午後からは、広報展示室において講師の先生をお招きして篆刻を体験し、一文字を石に彫り成人の記念として印鑑を作成し、祝賀行事を終了した。

祝！新成人祝賀行事

古河駐屯地司令杯



試合



選手宣誓

十二月十七日、駐屯地曹友会は「古河駐屯地司令杯小学校バレーボール交流大会」を開催した。今大会は、近隣住民との交流を図り、自衛隊及び駐屯地に対する理解と信頼を向上することを目的として近隣小学生を招待して実施した。当日は、駐屯地司令の挨拶の後、小学生代表による力強い選手宣誓で幕を開けた。

大会は、二ブロック八チームによるリーグ戦を実施し、どのチームも白熱した試合を繰り広げた。また、休憩時間等には広報展示室や展示車両の見学を行い、緊張もほぐれ、笑顔のぞかせていた。

東ティモール能力構築支援



見送り行事



測量要領の教育

十月二日から十一月十二日までの間、第一〇一施設器材隊、栗田三曹、田村三曹、第一〇二施設直接支援大隊、横山三曹、計三名が「日米豪共同東ティモール民主共和国能力構築支援」へ参加し、米・豪軍と連携し、現地において同国の要員に対して測量や車両整備に関する教育を実施し、無事帰隊した。

また、体育館において、出発前に駐屯地各部隊等が見送る中、盛大に見送り行事が行われた。

新成人紹介



久我 1 士



松岡 士長



田代 1 士



田村 1 士



濱野 士長



木村 士長



小林 士長



安田 士長



矢島 士長



幅田 1 士



山本 1 士



吉田 1 士



恩田 1 士



西川 1 士



岡安 技官



野添 技官



磯山 士長



石井 1 士



小島 士長



浅野 1 士

茨城県殉職隊員追悼式



顕花



慰霊碑参拝

十月七日、勝田駐屯地において殉職隊員追悼式がしめやかに行われ、古河駐屯地を代表して、関東補給処、古河支処長及び各部隊等の代表者が参列し、鎮魂の祈りを捧げた。

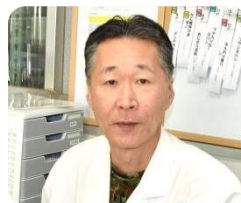
当日は、慰霊碑参拝に引き続き、追悼式典が執り行われ、黙祷が捧げられた後、遺族・茨城県知事をはじめ来賓の方々、各駐屯地司令等が献花を実施した。

終わりに、儀仗隊による弔銃が行われ、式は厳粛に終了した。

定年退官者（予定）の紹介



支処 川島 1 曹
4月9日付



業務隊 松田 曹長
3月20日付



102DS 石川 曹長
2月26日付



業務隊 中里 曹長
2月18日付



業務隊 鈴木 曹長
2月16日付



支処 大熊 事務官
3月31日付



支処 加藤 事務官
3月31日付



業務隊 島田 事務官
3月31日付



業務隊 小池 事務官
3月31日付

関東補給処古河支処



総合優勝を記念しての集合写真

十二月七日、霞ヶ浦駐屯地において、霞ヶ浦駐屯地においで実
 施された関東補給処
 継続された競技会に
 した。今年度の競技会
 個人走の他に、新た
 に分隊員が行われた
 各隊員の努力の結果
 一総合優勝を果
 たし優勝旗を奪還
 した。雪辱を晴らす事
 きた。



現地での支援状況

十一月十四日から
 二十三日までの間、
 秋季東富士演習場定
 期整備を支援した。
 期間中は計三回の要
 求に対し、八品目八
 輸送を含む迅速に補
 給の部品を迅速に補
 給し、装備品の高稼
 働率維持に寄与する
 とともに、本定期整
 備の任務完遂に寄与
 した。



特管品を点検する山内処長

十二月十四日、国
 際緊急援助隊特別管
 理品目について、東
 補給処長山内陸路の
 点検を受けた。現地
 の説明を受け、現物
 の保管状況を点検し、
 古河支処における特
 別管理品目の保管状
 況が国際緊急援助隊
 の派遣支援に万全で
 あることを確認され
 た。



可搬記憶媒体保管状況の点検

十一月二十七日から
 三十日までの間、関東
 補給処による統一検
 査・点検（掘切・点検
 官 副処長 堀切 陸将
 補）を受けた。掘切
 本検査・点検を通し、
 各受検項目において、
 合規適正に実施してい
 ることの確認を受けた。
 指摘された事項は速や
 かに是正し、改善を
 図っていく。

古河駐屯地業務隊



食堂屋根の塗装作業

十一月九日から十二
 月七日にかけて隊員食
 堂の屋根（約千八百平
 米の折板鋼板屋根）の
 「遮熱塗料」塗装作業
 を実施した。効果は、
 遮熱塗料の効果は、
 夏季の冷房効果アップ
 と、建物の延命効果が
 期待でき、隊員の生活
 環境の向上を図った。



土壌による油流出対処

十月十三日に油が流
 出し、十一月十五日に
 感染症患者が発生した
 想定で不測事態対処訓
 練（土壌による油流出
 対処）を実施した。
 未然に防ぐことを第
 一に万が一発生した際
 には適切・迅速に対処
 できるよう訓練をして
 万全を期した。



樹木の剪定・伐採作業

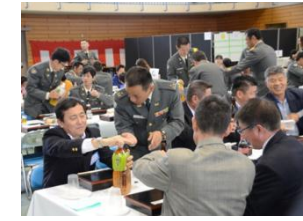
十二月一日から四日
 の間で駐屯地内樹木の
 伐採及び剪定作業を
 実施した。
 今年度は、度重なる台
 風の影響で倒木が発生
 し駐屯地内施設に影響
 があつた、今回の作業
 により駐屯地外への影
 響を未然に防止すると
 ともに、駐屯地の抗堪
 性向上を図れた。



第1位 ダンプ車両中隊 (テーマ 日本庭園)

十一月に駐屯地花壇
 コンクール（後段）を
 実施した。
 七月に実施した前段
 の結果とあわせ総合一
 位を競うもので、
 一位 ダンプ車両中隊
 （日本庭園）
 二位 古河支処総務部
 （癒しのハーブガーデン）
 三位 337高射中隊
 （ゴルフ）
 の結果であった。

第101施設器材隊



懇親会



記念撮影



記念式典



執行者（八島2佐）

十月十五日、第一〇一施設器材隊（第一〇一器材隊 長 八島二佐）は、古河駐屯地において、創設四十五周年記念行事を挙行政事には歴代隊長をはじめ、部内外からの多数のご来賓及びOB会員、隊員家族等や現役隊員、総勢二百三十三名が参加し行われた。
 創設記念式典では、参加したOB会及び隊員家族等の見守る中、整齊澁刺と実施した。器材隊長は式辞の中で「今後とも更なる精進化を目指し任務完遂のため、隊員一人一人が戦士として必要な資質・技能の向上を図り、施設技術の練磨に励み、絆を強化して多様な任務に邁進していく。」と述べた。
 記念撮影が行われたのち、祝賀懇親会が催され、参加された方々は昔話や思い出話に花が咲き、笑い声が聞こえる等、和やかな時間を過ごしていた。
 最後の締め括りとして、全員で声高らかに器材隊歌を合唱し、本記念行事は大盛況にて終了した。

第301ダンプ車両中隊



ダンプ作業

十一月七日から二十三日までの間、秋季東富士演習場定期整備に参加した。整備の場を活用し、若年隊員の操縦技術の向上を図るとともに、東富士演習場の各作業地域においてダンプ作業及び施設器材による支援を実施した。総運土台数二百九十七台・千七百八十二m³の骨材運搬を実施し、本定期整備任務の完遂に寄与した。

第102施設直接支援大隊



機関銃掩体構築



前進命令下達

十月十二日から二十三日までの間、方面隊の作戦における東部方面後方支援隊の行動に關して訓練検閲を受閲し、総合戦闘力の最大限發揮に必要な各種能力の進歩・向上を図った。



銃剣道

十二月五日から八日までの間、駐屯地において、平成二十九年度団戦技競技会及び兵站競技会に参加した。戦技競技会では、射撃・断郊走・銃剣道が実施され、兵站競技会では車両操縦技術・予防整備・基礎知識が試された。それぞれの種目において中隊の代表選手が実力を発揮し、銃剣道個人戦陸曹の部で鈴木二曹、女性の部で西阪士長が優勝の成績を収める。



ダンプ故障整備

十一月十三日から二十二日までの間、東富士整備支援隊として、秋季東富士演習場定期整備に参加した。本整備支援隊の編成にあたり、平素から直接支援態勢を保持しつつ、全般支援大隊(隊)の一部を受けて、需品整備機能を増強し、装備品の高可動率維持に寄与した。

320基地通信中隊 古河派遣隊



施設巡視中の小澤大隊長

十一月十三日、第一〇五基地システム通信大隊長小澤広道三等陸佐が来隊し、翌十四日に大隊長職務視察が行われた。岸三尉が派遣隊長として着任してからは、初めてとなる大隊長職務視察であり、一新された派遣隊の様子を伝えることができた。



養成訓練の様子

十一月十三日から十五日にかけて、第三二〇基地通信中隊の計画による陸曹候補生養成訓練が始まり古河派遣隊でその第一回目が実施された。岸三尉、浜田三曹及び熊谷三曹を教官助教とし、各派遣隊から陸曹候補生を目指す陸士が集まり厳しく熱い教育が行われた。

第337高射中隊



器材準備

十一月中旬、米国マクレガー射場にて行われた、部隊実射訓練検閲を受閲した。参加者は二高群の代表として、不撓不屈の信念で訓練に当たった。結果は、目標撃墜、「優良」の成果を獲得することができた。しかし、これに満足することなく、今回の指摘事項を早期に改善し、さらなる精強な部隊を目指し、引き続き練度の向上に努めたい。



力走する選手

十二月十三日から十九日の間、松戸駐屯地にて行われた、平成二十九年度持続走競技会に参加した。隊員は、この日に向け集中的な訓練を十月より行なった。結果は、第二位であったが、一般走や駅伝走では軒並み自己新記録を更新し、各隊員は日々の練成成果を遺憾なく発揮した。これからも総合優勝を目指し努力していく。

駐屯地広報班



来場者で賑わう会場



展示車両と記念撮影

十一月四日及び五日の二日間、古河市で実施された「古河よかんべ祭り」を支援した。イベントのひとつとして、自衛隊車両の展示依頼を受け、駐屯地隊員九名が参加し、小型トラック・偵察用バイク展示、迷彩服・防弾チョッキ試着・パネル展示コーナーを設け、広報活動を実施した。来場者は、普段見られない自衛隊の装備品や写真パネル等に興味津々の様子で熱心に説明を聞いていた。子供達には、迷彩服に着替え、車両等に乗って入ったり、記念写真を撮ったりと楽しそうに見学していた。

第341会計隊



優秀隊員

十一月十四日から二十三日までの間、定期演習場整備会計同行支援班として、古河本部から池田三曹、灰野士長が参加し、整備隊に必要な借上器材に係わる調整、糧食品現地調達等を実施した。第一施設団長より優秀隊員として灰野士長が表彰を受けた。



射撃競技会

十一月二十二日、平成二十九年東部方面会計隊射撃競技会表彰式が実施され、全十個部隊中「優勝」という成果を修めた。射撃競技会においては射撃の得点の他、射場勤務、分解結合等総合的に採点された。今後も射撃予習等練成をしっかりと実施し、継続的に良い成果を修められるよう励んでゆく所存である。